

## パート2 ~ 合法木材利用推進に向けた課題と展望

### 【趣旨】

パート1による「日本市場の購入行動が各国の違法伐採問題への取り組みに重要な影響を与えること」という問題提起を受け、需要側・供給側の関係者、行政の関係者などにより、「合法木材利用推進に向けた課題と展望」について、調達を拡大安定させるための制度的な整備、供給側からのPRなどの努力、供給側の信頼性、需要者側と供給者側との連携等の点について討議を行う。

### 【パネリスト紹介】

柿澤 宏昭

北海道大学大学院農学研究科 教授

1984年北海道大学大学院農学研究科修士課程修了、北海道大学農学部助手、助教授をへて同大学農学研究院教授。専門は森林政策で、持続可能な森林管理を支える仕組みづくり、ロシアの森林管理と政策などを研究している。主な著書として、エコシステムマネジメント、ロシア - 森林大国の内実などがある。ロシアの森林政策を研究していたことがきっかけとなり、違法伐採の問題に関わるようになった。

赤木 利行

林野庁 木材貿易対策室 室長

1982年林野庁に入庁。在マレーシア日本大使館、北海道日高営林署、高知県森林局等の勤務を経て、2008年4月に木材貿易対策室長に就任。前職では地球温暖化対策の林野庁窓口として森林吸収源対策等の立案に関与。現職では、WTO交渉や経済連携協定などの貿易問題のほか、違法伐採対策に関する国内、国際的な取組を総合的に担当。

特に、違法伐採対策では、現在、木材の合法性証明システムの普及と木材輸出国等との連携強化に取り組む。

阿部 祐爾

株式会社岡村製作所 環境マネジメント部部长

1978年入社、約20年間 製造部門で椅子とテーブルの生産・調達・資材・配送の管理業務を担当、その後8年間、購買部で基礎資材の調達、購買企画を担当、2006年より環境対策部部长(現環境マネジメント部)、日本オフィス家具協会(JOIFA)の環境部会委員、グリーン購入ネットワーク(GPN)理事。

河辺 安曇

王子製紙株式会社 資源戦略本部 林材部長

静岡県出身、1982年東京大学農学部林学科卒業、王子製紙株式会社勤務、国内工場勤務、シアトル、アトランタ、バンクーバーでの海外駐在を経て、2007年より、現職。

中川 敏

社団法人木造住宅産業協会 流通部長

1975年松下電工株式会社入社、総合技術研究所にて住宅、設備部材開発研究、住宅工法などの商品開発に従事、1995年松下電工テクノストラクチャー株式会社立ち上げ同社取締役、(横架材に軽量鉄骨を使用した木造軸組み工法であるテクノストラクチャー工法による年間供給戸数は約4千棟)。全棟に緻密な構造計算義務化、2006年社団法人日本木造住宅産業協会、資材・流通部長、国産材普及活動、住宅履歴情報委員活動など現在に至る。

沓澤 俊和

株式会社沓澤製材所 常務取締役

1969年秋田県生。東北工業大学院・工学(建築)博士課程前期修了。1996年ナイス株式会社入社。2003年沓澤製材所入社。2007年常務取締役(現職)。ナイス株式会社相模原・市売課、外商課を経て、首都圏プレカット(在来・金物・2×4・パネル)を5年間兼務。プレカットや木材、内装材の社内外講師も務める。現在製材所にて、川下で学んだニーズを取入れ、川上からの提案に取り組んでいる。財団法人秋田県木材推進機構・評議員。秋田県庁・県産材出荷拡大協議会委員。

鈴木 和雄

株式会社東海木材相互市場 社長

1966年材摠木材株式会社入社、2009年材摠木材株式会社 代表取締役会長就任、1998年株式会社ザイソウハウス 代表取締役社長就任。

役職 全木連副会長、愛知県木連会長、名古屋木材組合組合長。